

No.167

坂東地域アグリ通信



坂東地域農業改良普及センター HP
へアクセス！

令和元年5月20日

坂東地域農業改良普及センター 発行

Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

タマネギ現地研修会が開催される

4月17日（水）、JA茨城むつみ玉葱研究会の現地研修会が開催され、生産者や関係機関22名が出席しました。

JA茨城むつみ玉葱研究会は加工業務用タマネギの契約栽培に取り組んでおり、現地研修会や栽培講習会を開催しています。今回は坂東市、境町、古河市、五霞町の4ほ場を巡回し、各ほ場において生育状況の確認と今後の栽培管理等についての講習を行いました。



講習では、全農いばらきと普及センターから、生育調査結果や収穫時期の見分け方を紹介しました。また、今後注意が必要な病害虫や雑草の防除について説明しました。参加者からは病害虫や雑草防除について質問が多く出され、活発な情報交換が行われました。

当産地の加工業務用タマネギ栽培は2作目ですが、今作からセル育苗と全自動定植機を導入したことで計画的に作業が進み、これまでのところ生育もおおむね順調です。5月下旬には収穫時期を迎えるため、今後も普及センターでは関係機関と協力して支援していきます。

令和元年度「さしま茶ふれあい学習」を支援しました

5月9日（木）、農業大学校園芸部において、茨城県茶生産者組合連合会坂東支部主催による、小学生向けのお茶の勉強会「さしま茶ふれあい学習」が開催されました。本会では、小学生が茶摘みなどの体験を通し、地域の特産品である「さしま茶」を知り、親んでもらいたいという思いで、毎年このイベントを開催しています。今年は、坂東市内13校の小学4年生、426名が「さしま茶」について、歴史の勉強やお茶摘み体験、製造工程見学、お茶の試飲を通して学習しました。

坂東普及センターでは、農業大学校園芸部、坂東市役所と協力し、「お茶の話」として様々なお茶の特徴や、「さしま茶」について紙芝居で説明しました。

参加した小学生たちは、茶摘み体験では友達同士で競い合うように、茶の新芽「一芯二葉」を丁寧に摘み取り、お茶の試飲ではおいしそうにお茶を飲んでいました。



農業には若さがある！

今回は境町の稲垣 豊(いながき ゆたか)さんをご紹介します。稲垣さんは就農2年目で、ブロッコリー、レタス、カリフラワー、トマト等、多品目を年間通して、直売所に出荷しています。

○どうして就農しようと思ったのですか？

就農前は車関係の仕事をしていましたが、実家が農家であり、私は長男であったので、いずれは継ぐ予定でした。そんな中、私が就農する前年に、周囲で就農する人が多かったことがきっかけとなりました。

○就農してからの心持ちはどうですか？

私はどんな仕事も楽しめる性格なのですが、特に農業は楽しめることが多いと感じています。新しい発見も多く、失敗も含めて仕事を楽しんでいます。

○今頑張っていることや心がけていることは何ですか？

美味しい野菜を作ることはもちろん意識していますが、他にも販路拡大や通年出荷を目的に、通常と異なる時期での栽培方法にチャレンジしています。また、栽培効率を上げられないか模索しており、栽植密度を変えて栽培を行ったりもしています。

○農業の魅力は何ですか？

仕事をした分だけ売上に繋がり、目に見える成果が得やすいことです。また、私は収穫物を直売所で販売していますが、商品を並べている時はお客様と話す機会が多く、直接要望や感想が聞けるのでやりがいがあります。

○これからの目標は何ですか？

畑を広げて栽培品目、栽培期間を増やすことです。様々な品種に取り組んでいきたいです。

○最後に一言お願いします。

自分の裁量で仕事ができるので楽しいです。これからも様々なことにチャレンジしていきたいと思います。



6月 土壌診断実施日のお知らせ



6月 5日(水)

6月 19日(水) を予定しております。

- ・個人の農家の方が対象です。
- ・受け付けは先着順となりますので、お早めにお持ちください。電話等での予約は行っておりません。
- ・1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- ・1人あたり5点以内の持ち込みでお願いします。

編集後記

初めてインタビューに行きました。稲垣さんの農業に対するチャレンジの姿勢は良い刺激となり、私自身も様々な仕事にチャレンジし、覚えていきたいと思いました。ありがとうございました。(札)